

がん検診は、自覚症状のない健康な人が対象です。
あなたの健康を守る第一歩、
がん検診を受けましょう！

忘れず

が ん 検 診

が
ん
検
診



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

チ
エ
ツ
ク

がん検診の申込み・問い合わせは
お住まいの市町村がん検診担当窓口まで



市町村のがん検診
窓口一覧はこちら

国が推奨するがん検診は次の5種類です

次のがん検診は、死亡率を減少させることが科学的に証明された有効な検診です。
がん検診は、自覚症状のない健康な人が対象です。定期的にごがん検診を受けましょう。

☑️ 肺がん検診 (肺のX線検査、痰の検査 (対象者のみ))

罹患する人は40歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

※特に喫煙者は非喫煙者と比べて男性は約4倍、女性は約3倍肺がんになりやすく、受動喫煙も肺がんのリスクを2～3割程度高めます。

40歳以上の方は
毎年受診

☑️ 大腸がん検診 (便潜血検査)

罹患する人は40歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

40歳以上の方は
毎年受診

☑️ 胃がん検診 (胃のX線検査又は胃内視鏡検査)

罹患する人は50歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

50歳以上の方は
2年に1度受診

☑️ 乳がん検診 (マンモグラフィ検診)

40歳以上の女性では、最も罹患する人が多いがんであり、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

40歳以上の方は
2年に1度受診

☑️ 子宮頸がん検診 (子宮頸部の細胞診※1又はHPV検査単独法※2)

女性では、罹患する人が多いがんです。

20歳代後半から増加しはじめ、特に30～50歳代で多くなります。

※2 HPV検査単独法の受診方法等の詳細については、お住まいの市町村のがん検診担当窓口にお尋ねください。

20歳以上の方は
2年に1度受診※1

Q. がん検診はどこで受けられるの？

A. 市町村から委託を受けた医療機関などで受けることができます。
検診の対象となる年齢や実施時期、検査を行う場所、費用負担は、自治体によって異なります。詳細はお住まいの市町村のがん検診担当窓口にお尋ねください。



市町村のがん検診窓口
一覧はこちら



がんについて詳しく
知りたい方はこちら
(がん情報サービス)

